

『フラワーロードプロジェクト』

人と緑が輝く、四季の花々の街路



NPO 法人
渋谷さくら育樹の会

1. 企画の背景

「渋谷さくら育樹の会」と「花と緑」を軸とした活動

- (1) 私たちは、渋谷桜丘町会、渋谷駅前共栄会の協力のもと、2006年の春「渋谷さくらフェスタ2006」の実施を契機に「渋谷さくら育樹の会」(2007年11月、特定非営利活動法人認証(NPO法人))が結成されました。

昔は渋谷南部丘陵一帯に桜の木があったものの昭和20年の戦火で町と命運をともにし、現在は桜丘町だけに復活しているその桜の木を代官山や鉢山町に連なる同丘陵全体に広げ、さくらの丘、渋谷サザンヒルズとして、「花と緑」を軸とした環境にやさしい活力ある快適・安全の都市空間づくりに取り組んでいます。

「都市再生で求められるソフト面からの協働型まちづくり

- (2) 渋谷駅周辺は、内閣官房に「都市再生本部」により「都市再生緊急整備地域」に指定され、持続的・広域的な協働型まちづくりに向けた取り組みが開始されています。

そこで私たちは、協働型まちづくりとして、都市再生として街区整備のハード面でなく、行政、NPO、企業、町会、共栄会、そして市民の皆様と協力し合い、街全体の成長と活性化にむけてソフトの面から持続的な活動を推進していきたいと思っています。

2. 企画趣旨

四季の花々いっぱいの「さくら通り」 ページェントストリート

- (1) 環境にやさしい活力のある快適・安全の都市空間づくりを目的としている私たち「渋谷さくら育樹の会」は、人と緑が輝く街づくりに向けて、桜丘町の入り口にあたる「さくら通り」の街路樹にそって、コンテナ花壇を設置し、四季の花場のページェントストリートをつくりたいと思っています。

街全体の持続的協働による「フラワーヒルズ」化構想

- (2) 「さくら通り」のフラワーロード化を定着することにより、22年には、さくら通りの歩道拡張工事が実現し、桜と花により整備された「さくら通り」が実現しました。

年4回の植栽計画は、周辺住民や商店経営者、企業植市民の方々の協力による植栽ボランティアに支えられ、これからも、持続的にさらに範囲をひろげて展開していく「フラワーロードプロジェクト」を実施していきます。

本プロジェクトの街全体の協働による「人と緑が輝く街づくり」は、本地域を訪れる人たち、憩う人たちにも活力ある快適・安全の街を発信していくことになることと思います。

3. 企画実績

美化への啓蒙と美観の推進

(1) 具体的な実施時期については年に4回、3月、6月、9月、11月、季節に合わせた植栽を行っています。また、天気や気候によって花殻とりに一部の花のメンテナンスを行います。

(2) 実施場所は、昨年から引き続き渋谷インフォスタワー歩道横（14コンテナ

花壇）、さくら坂にある三角植栽柵（1画約2㎡）、歩道橋階段下（あおい書店前 2コンテナ花壇）また、桜丘の入り口である歩道橋階段下2か所（ドコモ西口ショップ前・リンガーハット前）に4コンテナ花壇を国土交通省より自主管理を任せられました、

(3) 花を飾る行為は美化への啓蒙となります。ゴミのポイ捨てや放置自転車、違法看板、タクシーの駐停止が減りました。また、さくら通り（さくら坂）の歩道も広くなり町的美観の推進につながりました。



あおい書店前のガードレール前

4. 植栽実施要項

1. 実施時期及び場所について

1) 実施時期 3月、6月、9月、11月の年4回

2) 実施場所（植栽エリア）

インフォスター脇の歩道設置 14 コンテナ花壇（各 100×45）
さくら坂植栽枿（約 2 m²）24 年度より 2 区画増設 計 3 区画
あおい書店前設置 2 コンテナ花壇（各 100×45）
西口歩道橋階段下 2 ヶ所 4 コンテナ花壇

2. 植栽実施内容について

1) 通年の花の選定

一年草の花だけではなく、目と香りを楽しむ実物やハーブなど季節を感じられる宿根草を中心に、ナチュラル感がでる雰囲気仕上げる。

2) 季節の一年草

春 一番花がたくさん咲く季節、パステルカラーの優しい色合い草
花
夏 代官山ひまわりと連動しひまわりを植栽
秋 恒例の桜丘の風物しとした秋桜（コスモス）を中心
冬 寒さに強く華やかな色彩のガーデンシクラメン、パンジー、ビ
オラ

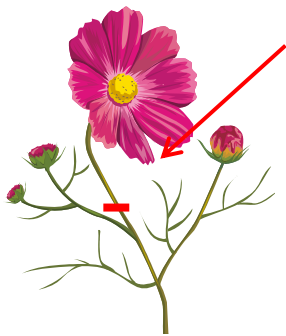


3. 植栽作業の過程

1) 切り戻し

茎が伸びすぎて草姿が乱れてきたら、切り戻し作業を行う。梅雨時に株が蒸れるのを予防するためや、花数を増やしたいときにも行う。切り戻し後に肥料を与えると、新しい茎が伸びて再び花を楽しめる。多くの植物は高温多湿を嫌うため、梅雨に入る前に切り戻しをするが望ましい。

- a 茎が伸びて花も少なくなったり、葉の色が黄色くなったり、枝が込み合って蒸れ気味の場合に草丈の3分の1を残して切り戻す
- b 元気な葉の付け根の茎にハサミをいれる。



2) 株の入れ替え

宿根草や一年草などいろいろな種類を混ぜて寄せ植えをしてからある程度時間がたつと、きれいに咲いている花、花が咲き終わってしまったものなど、植物によってばらつきがでてくる。そのため、全体を植え替えるのではなく、一部の株だけを入れ替える。季節ごとに終わった株をリニューアルすることで、別バージョンの寄せ植えを楽しめる。



- a 残す植物の傷んだ葉や枯れた下葉をはさみでカットする。
- b 植え替える植物は株元にまっすぐシャベルを深くさし込み、株元を一周する。
- c 残す植物の根をできるだけ傷めないように植え替え植物の株を手でゆらす。
- d 植え替える植物の根が残らないようにゆっくり引き抜く
- e 新しい株を入れるスペースを整理する。
- f 石灰・腐葉土・肥料・新しい用土足し入れるシャベルでホクホクになるまでかき混ぜる。
- g 新しい植物の根を少しほぐしなら、株元がしっかり土の中に隠れるように植え付ける。
- h 株全体にたっぷりと水を与えて完成
- i 周囲を清掃し後片付けを行う。

伸びきったラベンダーを切り戻す



土づくりで植物の育ち方が変わります。



根が土の上になないように
しっかりと植え込む。



最後の水やりはコンテナの下から
水が溢れるまでたっぷりと。

5. 植栽ボランティア作業

(1) 植栽作業の風景



6. 伝統文化の復興とイベント開催

露店の花市場とフラワーメッセ

- (1) 「露店の花市場」は、平成2年まで渋谷区猿楽町にあった氷川花市場にちなみ、植物・有機野菜・園芸グッズなどを販売する手作り感溢れる花市場です。

NPO 法人渋谷さくら育樹の会では、「緑と花いっぱいの街づくり」の第一歩として、2006年より毎年、春と秋の2回渋谷さくら通りのさくら街路樹の下で催しておりました。

昨年度より渋谷インフォスター広場にて定例で行えることになりました。渋谷桜丘での季節の風物詩にすることができればと考えております。

- (2) 「渋谷フラワー（花）メッセ（市場）」は、「花と緑」を軸とした環境にやさしい快適な街づくりを発信する催しとして、昭和の時代まで賑わっていた氷川花市場（猿楽町）を由来とし、「花で彩る」「花を愛でる」「花を楽しむ」を合言葉に、「人と花の輝く街」の実現に向けて、地域で総力をあげて実施する新しい文化イベントです。

（開催概要 別紙参照）

